

本部長の越後散策記



去る3月31日（日）、新潟市中央区にある新潟縣護國神社を参拝しました。私は各地方への赴任にあたっては、その土地の護國神社には必ず参拝することにしていきます。





大きな一の鳥居をくぐると、長い参道を挟み戊辰役殉難者墓苑、予科練鎮魂の碑や歩兵第116聯隊各中隊鎮魂碑といった多くの忠魂碑・慰霊碑が建ち並んでおり、一つ一つ敬意を込めて感謝申し上げました。

そして、長い参道の先にある本殿を見てびっくりしました。こんなにも立派な檜作りの美しい本殿を見たのは初めてです。この新潟縣護國神社には戊辰役から大東亜戦争にわたり戦没された将兵79,729柱の英霊が祀られていますが、このような立派な御社に大切に祀られ、英霊もさぞかしお慶びではないかと思いました。



刃も凍る極寒の北方から兜も焦がす灼熱の南方まで、ひたすら祖国の必勝を信じ家郷の安寧を願って戦い、祖国の御盾となり散華された英霊に心から敬意を込め、深甚なる感謝の誠を捧げました。そして自衛隊新潟地方協力本部長への着任を報告し、防衛基盤の拡充・強化に一所懸命御奉公することを誓うとともに、美しい祖国日本、美しい郷土新潟の弥栄と武運長久を祈りました。

